



学校教育目標

☆ともに学ぶ生徒

☆こころ豊かな生徒

☆ともに鍛える生徒

熊谷の子どもたちは、これができます！

「生きる力」= 学力・体力・やる気

- ⑤ 朝ごはんをしっかり食べる。
- ⑥ 呼ばれたら「はい」と元気よく返事をする
- ⑦ 「ありがとう」「ごめんなさい」と言う
- ⑧ 友だちをたくさんつくる。

「3減運動」

- ・テレビの時間
- ・ゲームの時間
- ・携帯電話やパソコンの時間



増やします！

- 家族との会話
- 予習・復習の時
- 読書の時間

大人が手本となって

人権について考える ～前期人権週間から～

人権とはなんでしょうか。「一人一人にかならずあり、すべての人が幸せになる権利」です。だれにとっても大切なもの、守らなければならないものです。

人は、自分にとって大切な人、例えば家族、仲のよい友達、自分と立場が似ている人については、その人のことがよく理解でき、尊重できることが多いのではないのでしょうか。では、自分と立場が違う人はどうでしょうか。

たとえば、あなたが男子だったら女子、女子だったら男子

あなたが中学生だったら、高齢の人

あなたが日本人だったら、外国から来た人

あなたの趣味がスポーツだったら、スポーツ以外に興味がある人

あなたとは意見が違うと思う人

立場が違う人にも人権があります。人権を大切にすることは、立場が違う人の人権も大切にすることです。自分はこれまでどうであったか、自分のことを振り返ってみてください。

自分とは立場が違う、意見が合わない、気にくわないからといって、相手の心を傷つけることを言ってしまったことはないでしょうか。

ここで、改めてことばの力を考えて見ましょう。ことばには大きな力があります。ことばは、人を幸せにしたり、時には人を悲しくしたりすることがあります。ほめられるとうれしくなり、悪口を言われると悲しくなります。そして、悪口はずっと心の中に消せない傷として残ってしまうかもしれません。そのときは、無意識で悪気はなかったとしても、一度出たことばは、取り返すことができません。自分が発することば一つ一つに責任を持たなければなりません。

ことばを大切に、そして人権を大切にしていきましょう。毎年、人権週間があり繰り返し人権について考えるのは、決して忘れてはいけないことだからです。

